

特集2

子育て応援、介護支援で「ゆとりファミリー」の実現を目指します!

子育てと介護

近年、核家族化などによる小世帯化が進み、子育てや介護にかかる家族一人ひとりの負担が大きくなってきています。

また、これまで地縁や血縁によって強く結びついていた地域社会も、地方から都市への人の流れや、転勤などの増加で変化してきました。

地域でゆとりを持って、家族が子育てや介護をできる生活環境をつくるために、今、社会全体で家族を支えていく仕組みが求められています。



家族支援の視点からレスパイト・ケア・サービスの充実を

※レスパイト・ケア: 子育てや介護の負担、苦痛などから一時的に親や家族を解放すること。

私が急病のとき、要介護の父の世話をどうすればよいか心配

学校の放課後、子どもが安心して過ごせる場所が欲しい

核家族は楽なようで、実はたいへんな部分もいっぱいある!

急な残業。子どもの迎えが困る

地域で子育てという前に父親の参加を!

子どもや高齢者が利用したいと思える施設が近くにない

どんなサービスがあるかわからない

「障害者を助ける」ではなく、自立を応援して

困った! という時の支援があれば

(コメントは「県政モニター会議」および「子育て・介護支援推進課の独自聞き取り」から)

新たな子育て・介護支援の取り組み

ファミリー・サポート・センター



※子どもを迎えに来た父親(下)と、一時預かり会員の池田さん(左)。

熊本市や大津町などでは、子育て家族を支援するため、子どもの一時預かりや送迎などを行う会員制の相互援助システム(1時間の基本料金600円)を運営しています。

介護ホーム



※週1回利用の宮崎花鈴ちゃん(7歳)と、入居者の菅本さん。

高齢者や障害児(者)の一時預かりや宿泊、入居ができる介護の「駆け込み寺」を目指し、玉東町社会福祉協議会が平成13年に介護ホームを開所しました。

ほほえみライフサポート事業



※熊本養護学校の看護師、竹野さん(中央)。

熊本県は今年度から、熊本・松橋・球磨の県立養護学校3校に看護師を配置し、保護者に代わって児童・生徒の日常的な医療介護を行う事業を実施しています。

ゆとりある家庭から
社会のゆとりを
支えるハートを

こうした取り組みは、保護者や介護にあたる方のレスパイト(「休息」の意味)を図り、家庭にゆとりを創り出そうとするものです。

子どもと一緒に成長していく喜び、年齢や障害の有無に関わらず人生を楽しみ、幸福を実感できる「ゆとりファミリー」の社会を目指して、熊本県では、こうしたレスパイト・ケア・サービスの推進に取り組んでいます。

子育てや介護支援に関する県の取り組みについてのご質問やご意見は、下記までご連絡ください。

■お問い合わせ先/熊本県子育て・介護支援推進課

☎096-383-1111(内線7205~7207) FAX096-385-0627

電子メール kosodate@pref.kumamoto.jp